

第 38 回 社協チャリティバザー 実施報告書

— 社協チャリティバザーは、平成 28 年度で 38 回目を迎えました —

平成 28 年 12 月 11 日(日)、社会福祉センターにおいて、社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の皆様からいただいた品物を市価の半額程度で販売、売上金はすべて市民の福祉活動に活用することを目的として第 38 回社協チャリティバザーを開催しました。

10 月 6 日(木)に共催団体による準備会を開催し、11 月 1 ヶ月間で物品提供・寄付金の受付を行いました。

【会場設営】

12 月 8 日(木)午後 1 時 30 分からボランティアセンター運営委員と職員で会場の設営、看板の設置を行いました。

【値付け】

12 月 9 日(金)、午前 9 時から値付委員と打合わせを行い、午前 9 時 30 分には搬入・整理担当者が加わり、合計 70 名の協力者と職員で提供物品の値付けおよび各コーナーの整理を行いました。昼食には登録ボランティアグループ「泉佐野市食生活改善推進協議会」さんによるカレーライスをみんなで食べ、3 時近くまで準備を行いました。

【当 日】

12 月 11 日(日)、午前 7 時半頃から開場を待つ来場者の列ができ、10 時の開場とともに会場はいっぱいとなりました。福祉センター 3 階は 500 円未満・500 円以上に分けて物品を販売するコーナーを中心に、手作り、食料品・洗剤・タオルや衣類、掘り出し物など種類で分類したコーナー、京都の高名な陶芸家の作品の入札コーナーと化粧品販売コーナー、オークションのコーナー、屋外には野菜コーナーと今年初めての屋外設置になる 100 円商品コーナー、2 階には喫茶コーナーを設置し、各種団体・ボランティア・社協関係者 118 名の協力者が販売を行いました。また、同時に、福祉センター向かいの籠池公園では登録ボランティアグループおよび市内の福祉施設が自主販売を行いました。

午前 11 時からオークションを開始、企業などから提供のあった宿泊招待券・食事券・入浴招待券・空気清浄機・掃除機・自転車・炊飯器・ふとん・プロスポーツ選手のサイン入りグッズ等目玉商品が落札されると会場はおおいににぎわい、盛り上がりました。

午後 2 時半にはすべてのコーナーで販売を終了し、現在の場所では最後の開催となる第 38 回社協チャリティバザーは盛況のうちに終了しました。



当日は登録ボランティアグループ「手話サークルいちょう」が手話通訳のボランティアを実施



【当日売上げ及び寄付金額】

コーナー	第 38 回売上金	第 37 回売上金
100 円コーナー	59,100 円	
500 円未満コーナー	114,250 円	117,400 円
500 円以上コーナー	102,400 円	103,800 円
手作りコーナー	40,000 円	37,300 円
野菜コーナー	100,350 円	68,350 円
食品・洗剤・タオルコーナー	149,862 円	156,900 円
衣類コーナー	69,140 円	75,250 円
掘り出し品コーナー	39,500 円	32,190 円
化粧品コーナー	74,000 円	23,000 円
時計コーナー		4,500 円
喫茶コーナー	57,500 円	54,600 円
オークションコーナー	438,900 円 (うち美術品 75,000 円)	572,400 円 (うち美術品 235,500 円)
福袋		42,000 円
寄付金・当日募金箱	471,850 円	462,410 円
合 計	1,716,852 円	1,750,100 円

《前回より、-33,248 円》

野菜の市場価格が上昇している中、新鮮な野菜の販売も来場者から喜ばれました。



今回は、100 円商品のみ販売ブースを新たに屋外に設けたことで当日販売額があがりました。